

令和元年度 第2回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	令和元年7月30日(火) 13:30~15:00					
2. 会場	魚沼市中央公民館 1階 大ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
	会長	樋口 健一	○	委員	富永 直子	欠(委任状)
	副会長	橘 恵子	○	〃	桑原 久美子	○
	委員	古田島 裕太	○	〃	櫻井 久子	○
	〃	高橋 久子	○	〃	岡部 ひとみ	○
	〃	上田 紀子	○	〃	櫻井 悦子	○
	〃	中澤 京子	○	〃	高橋 静枝	○
	〃	山本 都子	欠	〃	梅田 愛子	○
	〃	清水 明次	○			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局(教育委員会事務局) ・教育長：梅田 勝 ・事務局長：堀沢 淳 ・子ども課長：広井美智子 ・子育て支援センター長：磯部宏美 ・母子保健係：係長 山田弘子 ・保育園幼稚園係：係長 阿達文子 ・児童福祉係：係長 星野崇						
4. 資料 (全て事前配布済)	・会議次第 ・魚沼市子ども・子育て支援事業計画 平成30年度事業評価シート 資料No.1 ・第二期子ども・子育て支援事業計画案審議資料(第1部総論) 資料No.2 ・令和元年度 第1回魚沼市子ども・子育て会議 会議録 ・魚沼市子育て便利帳					
5. 会議概要	(説明、質疑、意見、答弁内容等の要旨をまとめました。)					
事務局	開会 委員総数15名、出席委員13名、委任状1名。半数以上の出席があり、会議成立。					
教育長	1 教育長挨拶 各保育園等では未満児の入所が増えているようですが、そうしますと手がかかりますが、なんとか職員の配置基準を満たしている状況です。また、保育士の産休、育休等の代替が無く、非常勤保育士も担任を持つなどして対応しています。 保護者としては、土曜保育や一時預かり等のサービスの利用により、就労やリフレッシュに繋がっているようです。子どもの教育としての考え方など、保育士と保護者の意識の相違もあるように感じます。地域全体で子育てについて考えていく必要があるかと思います。					

議長	◆ 以降は、会長が議長となり進行 2 報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	6 月に子育て便利帳を 2,500 部発行し、各所に配布しています。 子ども・子育て支援ニーズ調査の集計結果を 6 月 25 日の市議会福祉文教委員会に提出しました。
議長	2 点報告がありましたが質問等がございましたら、ご発言をお願いします。
議長	それでは、質問等ないようですので、3 議事(1) 子ども・子育て支援事業計画 平成 30 年度事業評価シートについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料No.1 子ども・子育て支援事業計画 平成 30 年度事業評価シートについて説明
議長	質問等がございましたら、ご発言をお願いします。
委員	資料 1 の 1 ページ 2-1 幼児期の教育・保育及び 4 ページ、4-1 幼児期の学校教育・保育の一体的提供の推進についての「方向性、見直し提案等」の記載内容に認定こども園への移行や民営化の検討についての記述がありますが、公立保育園等の再編・民営化にかかる専門部会の検討結果を反映してのものですか。
事務局	今年 3 月 18 日に開催した子ども子育て会議終了後に、1 回目の専門部会を開催しましたが、その時は今後のスケジュールや再編整備の必要性等の話で終わり、具体的な話には至っていません。委員改選もあり、今年度から本格的に議論していきますが、評価シートは今年 3 月末時点の記述です。
議長	他はいかがですか。
委員	資料 1 の 2 ページ、3-4 乳児家庭全戸訪問事業についてです。生後 4 ヶ月までの乳児全員について訪問を実施しているとのことですが、実績として全戸行けているのでしょうか。
事務局	平成 30 年度は全戸訪問しています。
事務局	今ほどご指摘いただきましたので、資料 1 の評価シートにも 30 年度実績として、全戸訪問できましたということを書き加えさせていただきます。
議長	他はございませんか。 ないようですので、事務局から一部書き加えていただき修正をお願いいたします。

	<p>続いて、(2)第二期子ども・子育て支援事業計画第1部総論(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料No.2 子ども・子育て支援事業計画 第1部総論(案)について説明</p>
議長	<p>議事(2)に関して説明がありました。質問等がございましたら、ご発言をお願いします。</p>
委員	<p>1 ページの計画策定の趣旨について、国の状況が多く書かれていますが、本市の特徴的な事項を書き加えた方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>この項目は、なぜこの計画を策定するのかという趣旨ですが、法律に基づき基本計画を策定する必要があることを記載しています。市の現状については、第2章にありますので、この項目ではこのような記述とさせていただきました。</p>
議長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>4 ページの「第1期期間の主要な事業の経緯」の下から2行目に、副食費の無償化の記載がありますが、これは市独自の取組としての記載にした方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市独自であることの記述を書き加えたいと思います。</p>
事務局長	<p>今ほど、市独自の取組として書き加える説明をしましたが、該当の3、4ページのおおもとの項目は、2 ページから始まる「2 国の子ども・子育て支援制度の概要」の続きとなっています。よって、市の概要を記述する項目ではないかと思います。</p>
事務局	<p>それでは、4 ページの「第1期期間の主要な事業の経緯」をおおもとの項目である「2 国の子ども・子育て支援制度の概要」とは別けて、一つの大きな項目に変更させていただきたいと思います。</p>
議長	<p>そのように項目を変更してよろしいでしょうか。(異議無し)</p>
委員	<p>3 ページの第1期期間の主要な事業の経緯に放課後児童クラブの記載がいくつかありますが、平成29年には湯之谷やくしクラブを設置しています。その記載は無くても良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>毎年度の主要な事を記載しています。湯之谷やくしクラブについても書き加えたいと思います。</p>

議長	そのように記載することでよろしいでしょうか。(異議無し)
事務局	いただいた意見の修正は次回の会議に再提案させていただきます。
議長	よろしく申し上げます。他にいかがでしょうか。
委員	グラフの作り方が基本的に縦は数値が上ほど高く、横の年は右に行くほど新しい年となっているようですが、14 ページのグラフ 10 など H30 が左、H25 が右となっているものもあります。あえてこのように作っているのでしょうか。
事務局	あえてという事ではありません。グラフの作り方について他の計画も参考にして検討してみます。
議長	他にいかがでしょうか。
委員	18 ページのグラフ 12 にパーセントの数値が表示されていません。また、22 ページのグラフ 18 は小、中、高校生の人数の推移に対し、その下にある児童数の将来予測のグラフ 19 は、0 から 4 歳、5 から 9 歳、10 から 14 歳の区分となっています。(年齢別等)対象を比較できるようにグラフの作り方を合わせることは可能でしょうか。
事務局	グラフ 12 はパーセントの数値を入れて修正します。グラフ 19 は出典元の資料に細かな年齢区分の資料があるか確認してみます。その資料やデータがないと年齢区分は合わせられません。
委員	23 ページ「4 保育サービス及び子育て支援事業の現在の状況」の入所園児数の表は 5 月 1 日現在のものですが、その後も年度末までに入所がありますので、3 月末の人数とした方が良いのではないのでしょうか。また、「入所者数は 997 人で、稼働率は 74.7 パーセントとなっています。」とありますが、「まだ入れる」と思う方もいると思います。何らかの説明が必要あるうかと思えます。
事務局	表の入所園児数は認可定員で表しています。利用定員と認可定員のどちらで表すか検討した結果、園からの要望等もあり認可定員で表しています。
委員	スペース的に受け入れられるのに保育士数がないため受け入れられない説明も必要ではないのでしょうか。
事務局	その説明については、補足して記載していきたいと思えます。なお、基準日を 5 月 1 日ではなく、3 月末の数字の方が良いのではといった話でしたが、前計画にあわせて 5 月 1 日としています。

議長	基準日等については、いろいろ考え方があると思いますので事務局で検討をお願いします。
事務局	検討させていただきます。
議長	グラフについて、原稿ベースは色分けによる区分のものが見受けられます。白黒でも分かり易いように、色ではなく網目等模様による区分にすると見易いと思います。
事務局	白黒でも見易いように工夫していきます。
委員	77 ページに(2)保育サービスと(3)幼児教育の課題がそれぞれありますが、この内容ですと保育園が幼児教育をしていないと受け取られるように思います。(2)(3)を分けずに作成した方が良くはないのでしょうか。
委員	語弊があるかもしれませんので、書き方を変えた方が良くような気がします。
委員	保育園、幼稚園ともに、実施している内容はそんなに変わらないと思います。(2)と(3)の項目が分かれていると、かえって分かりにくいと思います。
事務局	(2)と(3)を合わせて作成し、次回に再度提案させていただきたいと思います。
委員	77 ページ(3)に公立幼稚園が1園とありますが、どこを指していますか。
事務局	入広瀬幼稚園ですが、休園中です。
委員	79 ページの「3 計画の方向性」の2つ目に「自立し成長していけるようなまちを」とありますが、自立とは具体的にどのようなことを目指しているのでしょうか。
事務局	第3章は現計画の記述を変えずに提案しています。現計画策定当時の考えまでは把握していませんが、計画の対象年齢の18歳に到達した後に自分の進路は自分で切り開いていく力を持つように成長していくことを期待したいと思います。
委員	その考えは納得しますが、皆がそう思ってくれると良いのですが。人に頼らず生きていくと捉えられないか心配です。
議長	自立し成長していけるような「まち」を目指すとありますので、大人に向けた視点の意味合いかと思います。地域の人達が協力して、子ども達が自立して成長していけるような地域づくり、まちづくりを目指していく視点かと思います。

委員	<p>自立という文字は「立」と「律」の両方があります。両方の「りつ」を掲げながら成長を見守ることが必要と感じます。そうしたことから、提案の表現に違和感はありません。</p>
議長	<p>意見が多くありますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>現計画策定時の委員の皆様の思い等を紐解きながら、あらためる必要があれば次回提案させていただきます。</p>
委員	<p>77 ページ(2)保育サービスと(3)幼児教育の話に戻りますが、先ほどは(2)(3)を合わせた記述の方が良いような話でしたが、国では保育園と幼稚園を分けていると思いますので、市は一緒に記述として良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局に一任させていただき、次回に再度提案させていただきたいと思います。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。 たくさんご意見いただきありがとうございました。他に無いようですので、以上で議事を終了します。</p>
事務局	<p>スムーズな議事進行を大変ありがとうございました。最後に堀沢事務局長から閉会の挨拶を申し上げます。</p>
事務局長	<p>今回は総論案の提案をさせていただきましたが、現計画と見比べながら、皆様の意見を聞いて考えさせられました。 次回以降、ご指摘を受ける回数を減らすよう努力し、出来るだけ皆様の意見を反映できるように計画案を提案していきたいと思います。</p>